

## 血液疾患内科コース

### 研修目標

2～3年間血液疾患の診療に専念し、専門医に相当する知識と技術を身につける。

施設基準 日本血液学会認定研修施設

担当医師 川上公宏(S62年卒)、脇 正人(H2卒)

### 研修内容

1. 末梢血液像、骨髄像から診断を確定する。
2. 表面マーカー、染色体、遺伝子検査の見方
3. 各疾患について、症例を中心に、病態・診断・治療について理解を深める。  
Acute Leukemia, CML, Lymphoma, Myeloma, MDS, Aplastic Anemiaなど
4. 抗がん剤の使用法、副作用、について理解する
5. 血液疾患での抗生物質について理解を深める。
6. DICについて理解する。
7. 症例検討会を行う。
8. MGHの症例を利用して、米国の臨床例を検討する。将来の留学にそなえる。
9. 時間があれば、骨髄移植について学ぶ。
10. 内科疾患全般についての認定医としての知識を習得する、
11. 悪性疾患を抱えた患者、家族への告知について学び、接し方を身につける。
12. 外国文献も含め、検索方法を身につけ、広く新しい医学情報を集められるようにする。